

第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会開催要項

1 趣 旨

関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会を通じて、団員にスポーツの楽しさを経験させる機会を提供するとともに、団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることをねらいとして実施する。

2 主 催

公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
関東各県スポーツ協会 関東各県スポーツ少年団
公益財団法人埼玉県スポーツ協会 埼玉県スポーツ少年団

3 主 管

第 44 回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会実行委員会

4 後 援(予定)

埼玉県 埼玉県教育委員会 所沢市 鴻巣市 加須市 熊谷市 深谷市 久喜市

5 協 賛

ナガセケンコー株式会社 株式会社モルテン ヨネックス株式会社 株式会社守礼堂

6 協 力

埼玉県スポーツ少年団リーダー会

7 期日及び会場

(1)総合開会式

期日:令和7年7月25日(金)14:00 から

会場:所沢市民体育館 メインアリーナ

(2)競 技

期 日	令和7年7月12日(土)～27日(日)		
会 場	軟式野球	フラワースタジアム (鴻巣市) 加須きずなスタジアム (加須市)	7月12日(土)・13日(日)
	バレーボール	熊谷スポーツ文化公園体育館(熊谷市)	7月26日(土)・27日(日)
	ミニバスケットボール	所沢市民体育館(所沢市)	7月26日(土)・27日(日)
	バドミントン	毎日興業アリーナ久喜(久喜市)	7月26日(土)・27日(日)
	空手道	深谷ビッグタートル(深谷市)	7月26日(土)・27日(日)

8 競技方法

競技別実施要項による。

9 参加資格

- (1) 令和7年度日本スポーツ少年団登録団員及び指導者、役員又はスタッフであること。
- (2) 令和7年度スポーツ安全協会傷害保険に加入済みであること。
- (3) 選手は、満 12 歳（令和7年4月1日現在）以下で、原則として4年生から6年生までの小学生であること。
- (4) 引率責任者を除き、代表指導者・指導者はスポーツ少年団の理念を学んだ者であること。
ただし、引率責任者が競技指導にあたる場合はスポーツ少年団の理念を学んだ指導者であること。

10 各都県役員編成

原則として各都県役員は、本部長、総務とする。

11 チーム編成

- (1) 軟式野球（各都県1チーム：1都県あたり合計 25 名）
引率責任者1名、代表指導者1名、指導者2名、スコアラー1名、団員 20 名
- (2) バレーボール（各都県女子1チーム：1都県あたり合計 16 名）
引率責任者1名、代表指導者1名、指導者2名、団員12名。
ただし、開催県は2チームとする。
- (3) ミニバスケットボール（各都県男女各1チーム：1都県あたり合計 40 名）
引率責任者1名、代表指導者1名、指導者2名、団員 15 名とマンツーマンコミッショナー1名（各県からの派遣）とする。ただし、開催県は男女各2チームとする。
- (4) バドミントン（各都県男女各1チーム：1都県あたり合計 16 名）
引率責任者1名、代表指導者1名、指導者2名、団員12名（男子6名・女子6名）
- (5) 空手道（各都県団体形・組手とも男女各2チーム：1都県あたり合計 29 名）
引率責任者1名、代表指導者1名、指導者3名、団員 24 名

12 経 費

大会経費は、公益財団法人日本スポーツ協会助成金と関東各都県分担金（35 万円）、その他の収入をもって充てる。

13 表 彰

1位から3位までのチームに賞状・メダルを授与する。（軟式野球は各ブロック2位まで）

14 申込方法

所定の参加申込用紙に必要事項を記入のうえ、下記に申し込むこと。

〒362-0031 埼玉県上尾市東町三丁目 1679 番地 スポーツ総合センター内

公益財団法人埼玉県スポーツ協会 埼玉県スポーツ少年団

第44 回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会実行委員会

TEL:048-779-5895 E-mail:sjsa@saitama-sport.org

15 申込期限

令和7年7月 3 日（木）必着

16 参加上の注意事項

- (1) 各都県の代表団員は、ユニフォームに所属都県名を明示すること。
- (2) 参加団員及び参加指導者は、下記のとおり団員章及び指導者章を付けること。

競 技 名	団 員 章	指導者章	備 考
軟式野球	右袖（縫付け）	右袖（縫付け）	
バレーボール	左肩（縫付け）	左肩（安全ピン可）	初戦のみOK
ミニバスケットボール	左肩（縫付け）	左肩（安全ピン可）	TシャツOK
バドミントン	左又は右肩（縫付け）	左肩（安全ピン可）	
空手道	左肩（縫付け）	左肩（縫付け）	監督IDカード（4名）

- (3) 参加者の健康診断は、各都県の責任において実施すること。
- (4) 競技中の事故に対しては、主催者は応急処置を行い、その後は参加者側で処置すること。

17 宿泊・輸送

宿泊・輸送（交通手段）については、各チームの自己手配とする。

18 傷害保険

大会期間中は、実行委員会が参加者全員を被保険者として傷害保険に加入する。なお、競技中のケガ等のみを対象とする。

19 組み合わせ抽選

第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会実行委員会において行う。

※令和7年6月8日（日）14時から ウェスタ川越 多目的ホール

20 携行品

- (1) 各競技並びに日常生活に必要な服装・用品・体育館シューズ等
- (2) 都県本部旗・単位団旗
- (3) その他全ての持ち物には、所属団名（都県名）・氏名を記入すること。
- (4) 開会式に参加する指導者・団員は、室内シューズを持参すること。

21 記念品交換

- (1) 各試合会場において記念品交換を行う。
- (2) 記念品の内容・方法については、各競技別の実施要項による。

22 総合開会式・競技開始式

総合開会式は、参加者（団員・指導者）等を一堂に会して行う。（軟式野球を除く。）

また、競技別開始式については、各競技必要に応じ行うものとする。

23 代表者会議

期日：令和7年7月25日（金）15時から 会場：所沢市民体育館

※軟式野球以外の全競技が対象となります。

24 参加者変更

参加申込後の交代(変更)は特別な事情がない限り認めない。

ただし、特別な事情がある場合は、所属都県本部長の承認を得て、主管者が認めた場合に限り可能とする。

25 個人情報の取り扱い

別紙申込書に記載された個人情報等は、本大会の運営及び記録の為に使用します。

また、期間中に撮影した、写真、動画に関しても、本大会の運営、記録及び広報の為に、報告書や本会ホームページ、SNS 等に使用させていただきます。

26 その他

(1) 状況により、今後この要項の内容に変更があることに留意すること。

(2) 各競技規則及び取決め事項によらない事項が生じた場合の対応については、適宜協議し、決定するものとする。

(3) 本大会は、公益財団法人スポーツ安全協会の助成を受けて開催するものです。

(4) 大会の様子は、埼玉県スポーツ少年団公式 Instagram にて配信します。

第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会開催要項

【軟式野球】

- ① 期日 2025年7月12日(土)～7月13日(日)
- ② 会議 監督会議:7月12日(土)8:00～鴻巣市上谷総合公園野球場
- ③ 会場 埼玉県「鴻巣市上谷総合公園野球場」(鴻巣市上谷707)
埼玉県「加須きずなスタジアム」(加須市三保590)
- ④ 開会式 鴻巣市上谷総合公園野球場 7月12日(土)8:45～
- ⑤ 参加資格 ①令和7年スポーツ少年団登録団員及び指導者及び役員・スタッフであること
②選手は12歳(R7.4.1現在)以下であること
③選手は、原則4年生から6年生であること
- ⑥ 適用規則 2025年度公認野球規則および競技者必携に記載される「学童野球に関する事項」ならびに別に定める大会特別規則を適用する。出場チームは必ず上記、規則書・競技者必携を持参のうえ、参加すること。直、本要項に記す内容は、規則書、必携の重要部分及び相違部分である。
- ⑦ 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーJ球とし、大会本部が準備提供する。
- ⑧ 競技方法・運営に関する事項
 - ①ベンチに入れる人員
参加申込書に記載された、引率責任者(代表者)1名、代表指導者(監督)1名、指導者(コーチ)2名、スコアラー1名、選手20名の合計25名以内とする。
このうち、代表指導者(監督)1名、指導者(コーチ)2名はスポーツ少年団の理念を学んだ指導者とする。
熱中症対策員として保護者2名まではベンチ入りを認める。但し、登録上、各単位団のスタッフ登録者に限る。指導者3名以外は、ユニフォームを着用してはいけない。指導者(コーチ)は、ベンチを出て指示をしてはいけない。又、引率責任者は、ベンチ内の風紀的役割を果たし、熱中症対策者は、その職務に従事するもので、選手へのプレイに対する指示や過度な応援は厳に慎み、ベンチ全面に出る事を禁ずる。尚、選手以外は全員成人者であること。
 - ②正式試合
 - (1) 試合は6回戦、又は90分とする。
 - (2) 暗雨・降雨で試合続行不能でも5回終了にて試合は成立する。
 - (3) 5回終了前でも、90分経過した場合、新しいイニングには入らず、均等回完了にて試合を決する。

(4) 同点の場合は、タイブレーク方式にて勝敗を決する。

【タイブレーク方式】

継続打順とし、前回の最終打者を 1 塁走者、2 塁走者は順次前の打者とする。すなわち、無死走者 1 塁・2 塁の状態ですべて 2 イニングを行う。

尚、2 イニングで勝敗が決しない場合は、抽選とする。

③投球数制限

- (1) 投手 1 人 1 日 70 球以内(4 年生以下は 60 球)
- (2) 投球数に達した場合、その打者が攻撃を完了するまで投球できる。
- (3) ボークにかかわらず投球したものは、投球数に数える。
- (4) タイブレークになった場合は、1 日の規定投球数内で投球できる。
- (5) 準備投球や牽制球は、投球数としない。

④注意すべき規則

- (1) 投手の投球間隔について、12 秒/20 秒ルールを適用する。
従って、打者も無用にバッターボックスを外すことを禁ずる。
- (2) 指名打者制を採用する
但し、二刀流(大谷ルール)は、採用しない。

⑤服装・用具

- (1) 服装・用具(スパイクを除く)については、同一チームの選手、指導者は全員が同色、同型、同意匠のユニフォームでなければならない。指導者のロングパンツは禁ずる。
- (2) スパイクは、金属製のものを禁ずる。
- (3) 安全確保の為、試合中は、打者・走者・次打者・ベースコーチは、JSBB 公認の両耳付きヘルメット、捕手は公認マスク、プロテクター、レガース及び捕手用ヘルメット、ファウルカップを着用すること。
- (4) 安全確保の為、スライディングミットの着用を認める。
- (5) アームスリーブの着用は、投手以外については、片方の腕だけに着用することを認め、両袖の長さが違っていても良い。投手が使用する場合は、両腕に着用し両袖の長さは同一にすること。尚、商標の表示は認めず、色はアンダーシャツと同色とする。

⑥その他

- (1) 打順表の交換(攻守決め)・・・主将、代表指導者が立ち会う
第 1 試合は、試合開始 30 分前に本部に提出し、球審立ち合いにてジャンケンにて決定する。第 2 試合以降は、3 回終了時に提出し、上記の通り決定する。尚、攻守決定後、先発投手 1 名のみブルペンの使用を認める。試合の妨げにならないようにすること。
- (2) 試合中は勿論、練習中でもユニフォームを着用しない者は、グ

ランドに入る事はできない。

- (3) 攻守交代は、駆け足で行うこと。攻撃チームはベンチ内で 3 アウト前に給水を行い、チェンジ時に速やかにベンチを出ること。

⑨ 応援マナーについて

- ①野球に「ヤジ」は必要ありません。「ヤジ」撲滅を遵守し、お互いに尊重すること。
- ②鉦や太鼓、ラッパ等の用具使用を禁止する。
- ③ペットボトル・メガホン等を打ち鳴らす応援を禁止する。
- ④投手が投球姿勢に入ったら声出し応援を禁止する。

⑩ 天候不順時の大会運営

- ①両日共、時間を変更して実施する場合がある。
- ②7 月 12 日：全試合中止の場合
→7 月 13 日に 1 回戦し、代表決定戦は抽選とする。
→交流戦は行わない。
- ③7 月 12 日：一部試合が成立、一部中止した場合
→不成立の試合を 7 月 13 日に実施し、代表決定戦は抽選とする。
→交流戦は行わない。
- ④7 月 12 日：全試合実施、7 月 13 日：全試合中止の場合
→①②の勝利チーム、③④の勝利チーム同士にて代表決定抽選を行う。
→交流戦は行わない。
- ⑤両日共悪天で試合が中止の場合
→全て抽選にて代表チームを決定する。

⑪ 熱中症（暑熱）対策について

- ①会場毎に試合開始前にホームベース上において、暑さ指数（WBGT）を測定する。又、2 回・4 回イニング終了時にも測定する。
- ②2 回及び 4 回イニング終了時に、給水タイムを 5 分間設ける。
- ③各会場共に、救護室を設け体調不良者発生時に備える。
- ④各会場ベンチ内に送風機等の設置準備を行う。（チーム持参も可能）
- ⑤ベンチ内の直射日光を遮る為、ベンチ内・外へのターフテント設置を検討する。
- ⑥各チームの引率責任者・指導者・熱中症対策保護者は、選手を絶えず観察し、異変を発見次第、本部へ連絡すること。

⑫ 当日の試合実施可否連絡

- ①両日共、午前 6:00 に判断後、参加各チーム代表指導者携帯宛連絡いたします。
- ②7 月 12 日（土）：試合を実施しない場合でも、監督会議は実施する。

⑬ その他

① 試合模様等の写真・ビデオ撮影データは、個人で楽しむ・思い出として保管するものとし、SNS 等へ配信する場合は、相手チームの承諾を必ず得ること。当本部は、一切の責任を負いかねます。

また、SNS 当での誹謗中傷等を一切禁ずる。

② 大会の写真撮影を許可された指定業者が、写真販売のご案内をする為、代表者の連絡先を提示する予定ですが、不要で拒否されるチームは、事前連絡又は、監督会議時に必ず申し出てください。

③ 記念品交換については、試合開始前あいさつ時にハガキ交換を行う。

ハガキの表に自分の住所・氏名等を明記の上、1 日目・2 日目の 2 試合ハガキ 2 枚を用意すること。

⑭ 問合せ先

埼玉県スポーツ少年団

野球部会 事務局長

三宅 誠吾

090-8850-9460

saitamajbc2024@yahoo.co.jp

第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会開催要項

【バレーボール】

1 期日

- (1) 令和7年7月26日(土) 開始式 9:45
競技開始 10:00
- (2) 令和7年7月27日(日) 競技開始 10:00
閉会式 14:00(予定)

2 会場

熊谷スポーツ文化公園体育館(埼玉県熊谷市上川上300番地)

3 競技規則

- (1) 2025年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則により実施します。
ただし、別に定める小学生バレーボール規則を採用して実施します(以下参照)

『施設と用具』

- ①コートは16×8mの長方形で、センターラインの中心より、8×8mのコートに2等分される。アタックラインの後端がセンターラインの中心から2.7mとなるように引く。サービスゾーンはエンドラインの後方に位置する8mの幅を持つ区域である。
- ②ネットの高さは2.00mとする。
- ③ボールは、円周62～63cm、重量200～300gの規格のものを用いる。

『選手の番号』

- ①胸部が最小限10cm、背部が最小限15cmの高さのものを用いる。

『チームのスターティングラインアップ』

- ①監督は各セット前に、サービス順とスターティングラインアップを記入したラインアップシートに署名し、セカンドレフリーまたはスコアラーに提出する。
- ②サービス順は、選手の位置に関係なく決めることができ但其のセットを通して変更することはできない。
- ③交代選手のサービス順は、被交代選手の順位とする。

『試合の進行』

- ①試合は、サービス権を得たチームの最初のサーバーによって開始される。
- ②サーバーによってボールを打たれた瞬間には、サーバーを除く両チームの選手はそれぞれのコート内にいなければならない。
- ③レシービングチームがラリーに勝ち、サービス権を得た場合、サービス順に従い、サービスを行う。
- ④サービス順の誤りは反則となり、その間違いは直ちに訂正される。
- ⑤監督はラリー中、ベンチに座っていなければならない。
- ⑥選手の健康と安全を配慮し、テクニカルタイムアウトを用いる。第2セットおよび第3セットでは、リードす

るチームが11点目に達したとき、第3セットでは、リードするチームが8点目に達したときは、30秒間のテクニカルタイムアウトが自動的に適用される。

⑦第3セットでは、リードするチームが8点目に達したときは、チームは直ちにコートチェンジをする。

『得点を得て、セット・試合に勝つこと』

①セットは（第3セットを除き最低2点をリードし、先に21点を得たチームが取る

20-20の同点になった場合、（22-20、23-21のように）2点のリードが得られるまでプレーは続く。

セットカウントが1-1のタイになった場合、第3セットは、最低2点をリードし、15点になるまで続けられる。

②試合は、2セット取ったチームがその試合の勝者となる。

『ネット付近の選手』

片方の足（両足）または片方の手（両手）がセンターラインを越えて相手コートに触れても、侵入している片方の足（両足）または片方の手（両手）の一部がセンターラインに接しているかその真上に残っていれば許される。他のいかなる身体の部分も相手コートに触れることは許されない。

『選手の交代制限』

各チームは、1セットにつき12回までの選手交代が許される。

『記録の方法』

試合は、スコアシート記入法によって記入される。それぞれのセットのレシーブチームも、スコアシートの「サービスチェック欄」はローマ数字の1の1欄から記入される

4 参加資格

①2025年（令和7年）スポーツ少年団に登録していて、スポーツ安全協会もしくは同等の保険に加入している団員および指導者とします。

②団員は、2025年（令和7年）4月2日現在、小学校4年生以上で、大会参加を保護者が承認している団員とします。

③指導者

○ベンチ入り可能者4名以内

○引率責任者1名：スポーツ少年団登録をしている指導者、役員又はスタッフ

○代表指導者（監督）スポーツ少年団の理念を学んでいる方

○指導者（コーチ、マネージャー）は、スポーツ少年団の理念を学んでいる方

5 競技方法

1日目：3チームによるリーグ戦方式で行います。

2日目：1日目の順位ごとのリーグ戦方式で行います。

6 大会使用球 株式会社モルテンV4M—L5000を使用します。

7 順位の決定方法

公益財団法人日本バレーボール協会の定める「リーグ戦形式の順位決定方を順守する。

◎リーグ形式では、次の採点方法を用いて順位を決定します。

勝者－2点 敗者－1点 棄権または没収－0点

この方法によって、2つあるいはそれ以上のチームが同点になった場合は、下記の方法によって順位を決定します。

①セット率（全試合の取得したセット総数÷全試合の喪失した総セット数）が高いほど高順位となります。

②前項の計算によっても同順位を生じた場合

ポイント（全試合の総得点数÷全試合の総失点数）が高いほど高順位になります。

③前2項の計算をもっても同順位がある場合は、次の方法による。

（a）2チームの場合は、相互の試合の勝ちチームが上位になります。

（b）3チームの場合は、当該大会の大会委員長、競技委員長、審判長が決定法を検討します。

8 試合順序

	第1日目			第2日目		
	Aコート 予選1組	Bコート 予選2組	Cコート 予選3組	Aコート 1位リーグ	Bコート 2位リーグ	Cコート 3位リーグ
第1試合	②－③	⑤－⑥	⑧－⑨	2組－3組	2組－3組	2組－3組
第2試合	①－②	④－⑤	⑦－⑧	1組－2組	1組－2組	1組－2組
第3試合	③－①	⑥－④	⑨－⑧	3組－1組	3組－1組	3組－1組

9 個人情報の保護

- (1)当競技において、利用目的を明らかにせずなど、個人情報の取得には適切な手段を取り、その目的以外利用しません。
- (2)当競技において、個人情報を適切に管理するとともに紛失、改ざん及び漏えいなどを防止するための対策講じます。
- (3)当競技において、法令の要件を満たしている場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供および開示いたしません。
- (4)当競技において、プログラムに記載されている内容について、大会の目的および事業を推進するために利用させていただきます。ご理解をお願い致します。

インフォメーション

○代表者会議

7年7月 25 日(金) 15:00 所沢市民体育館
所沢市並木5丁目3番地 04-2991-1181

○競技について

競技上疑義が生じた場合は、運営スタッフで協議対応させていただきます。

○審判について

- ・ファーストレフリー、セカンドレフリー、スコアラーは主管団体が行います。
- ・コートオフィシャルは参加チームで行ってください、ご協力をお願い致します。

○使用球について

主催者側で用意します。

○スポーツマンシップについて

- ・応援はゲームの進行の妨げにならないようお願い致します。
- ・ゴミのお持ち帰りにご協力をお願い致します。

○安全管理について

- ・競技会場で病気にかかったり、ケガや事故に遭遇した場合は、応急手当を行います。
- ・競技会場に看護師が常駐します。
- ・緊急を要する場合は、救急車対応をさせていただきます。

○プレゼント交換について

- ・プレゼント交換は競技1日目(7月26日)に行います。
- ・各試合前のあいさつ時に、代表団員(主将)が行います。
- ・1日目に対戦する2チーム分を用意してください。
- ・プレゼント交換の品

＊色紙などに各チームで工夫したチーム紹介を記載したもの(写真を利用しても結構です)

○その他

1日目終了後、バレーボール用具をお預かり致します。(会場本部にお申し出ください)

ただし、貴重品や食料、飲料水等はお預かりできません。

さらに、お預かりした物品の破損などの責は負いかねます。

第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

【ミニバスケットボール】実施要項

1 期日

- (1) 令和7年7月 26日(土) 開場 8:30
開始式 9:30 競技開始 10:30
- (2) 令和7年7月 27日(日) 競技開始 9:30 閉会式 16:00(予定)

2 会場

所沢市民体育館(埼玉県所沢市並木 5 丁目 3 番地)

3 競技規則及び方法

- (1) 日本バスケットボール協会バスケットボール競技規則に準ずる。10 名以上で大会エントリーしたチームが大会当日に 10 名未満しか試合に出場できない場合や、8 名又は 9 名で大会エントリーしたチームが、大会当日に大会エントリー数に満たない人数しか試合に出場できない場合、原則として試合は行わぬが、試合は参考記録(20-0)とする。
- (2) 日本バスケットボール協会マンツーマンディフェンス基準規則に準ずる。
- (3) 試合中、指導者 1 名は大会本部で用意した指導者証を着用する。この者をチーム責任者と呼び、試合中のチームの指揮をとる。
- (4) 試合球は、主催者が用意した 5 号認定球(人工皮革)を使用する。

4 競技運営に関する取り決め事項

- (1) ベンチに入れる人員は、試合前の練習、試合中ともに下記のとおりとする。
 - ① 引率責任者は、登録指導者、役員又はスタッフとする。
 - ② 代表指導者(コーチ)は、登録指導者(スポーツ少年団の理念を学んだ者)に限る。
 - ③ 指導者(アシスタントコーチ・マネージャー)は 2 名以内で、登録指導者(スポーツ少年団の理念を学んだ者)に限る。
 - ④ 団員(選手)は 15 名以内とし、登録団員に限る。
- (2) 第 1 日目は、3 チームによる予選をリーグ戦方式で行う。
- (3) 第 2 日目は、予選リーグにおける 1 位、2 位、3 位の順位ごとにリーグ戦方式で行う。
- (4) 予選リーグ、順位別リーグとも延長戦は行わない。得点制とし、勝ちチームは 2 点、引き分けは 1 点、負けチームは 0 点とし、以下の要領で順位決定をする。
 - ① 勝ち点の大きいチームを上位とする。
 - ② ゴールアベレージ(総得点÷総失点)の大きいチームを上位とする。
 - ③ 得失点差(総得点-総失点)の大きいチームを上位とする。
 - ④ 上記①②③で順位が決まらない場合、指導者による抽選で決定する。
- (5) 試合進行上の理由によって試合の開始時刻が遅れる場合は、前試合終了の 10 分後に開始する。また、予定より早く進行しても、試合の開始時間は早めない。
- (6) 開始式(7/27)は全チーム参加とする。閉会式は、決勝リーグチームのみ参加とする。
- (7) 本大会のテーブルオフィシャル・フロアキーパーは、参加チームによって行われる。

5 補則

- (1) 参加申込み締切後のメンバー変更は、特別な事情がない限り認めない。
- (2) 団員(選手)のスポーツ障害並びに健康管理に十分注意すること。

(3) 今大会については、マンツーマンコミッショナーの帯同は必要ありません。

6 その他

(1) 代表者会議

日時: 令和6年7月 25 日 (金) 15:00～

会場: 所沢市民体育館

(2) 組み合わせ抽選会は、第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会実行委員会にて行う。

(3) 本実施要項に定められていない事項が生じた場合は、競技委員による協議のうえ、競技委員長の権限により処理する。

(4) 記念品交換については、1日目の各試合前のあいさつ時に、代表団員（主将）が行う。記念品は、チームの写真を添付した色紙とし、各チームは1日目に対戦する2チーム分を用意する。

(5) 応援団等のマナーについて

① 自チーム並びに相手チーム、審判員に対する野次、ブーイングは行わないこと。

② その他、目に余る応援、試合進行の妨げになる応援等については、大会本部、審判団により厳重注意をする。

③ 会場内にはゴミ箱は設置していません。ゴミのお持ち帰りに御協力ください。

第 44 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会開催要項

【バドミントン】

1 期日

- (1) 令和 7 年 7 月 26 日(土) 開始式 9:00
競技開始 9:30
- (2) 令和 7 年 7 月 27 日(日) 競技開始 9:00
閉会式 競技終了後

2 会場

毎日興業アリーナ久喜(久喜市総合体育館)(埼玉県久喜市江面 1616)

3 競技規則及び方法

- (1) 令和 7 年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程及び同公認審判規程に準じて行う。
- (2) 男女別の団体戦:2 複 1 単:単複は兼ねることは出来ない。一人 1 種目とする。
- (3) 競技方法:全都県総当たり(試合数 1 チーム 7 試合)全 56 試合
 - ① 1 日目:4 試合(男子 16 試合・女子 16 試合)
 - ② 2 日目:3 試合(男子 12 試合・女子 12 試合)
- (4) 使用シャトルは、公益財団法人日本バドミントン協会第 2 種検定審査合格球(エアロセンサ 700)とする。
- (5) 服装は公益財団法人日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣の背中中央に下記の要領によりゼッケンを付けること。
 - ① 都県名及び氏名を、黒又は紺の日本字(楷書)で印字する。
 - ② 文字列については、各行縦 6~10cm、横 30cm 以内とする。

4 競技運営に関する取り決め事項(ベンチに入れる人員)

- (1) 引率責任者は、登録指導者、役員又はスタッフとする。
- (2) 代表指導者(監督)は、登録指導者(スポーツ少年団の理念を学んだ者)に限る。
- (3) 指導者(コーチ)は 2 名以内で、登録指導者(スポーツ少年団の理念を学んだ者)に限る。
- (4) 団員(選手)は、男女各 6 名の計 12 名とし、登録団員に限る。

5 補則

- (1) 参加申込み締切後のメンバー変更は、特別な事情がない限り認めない。
- (2) 団員(選手)のスポーツ障害並びに健康管理に十分注意すること。

6 その他

- (1) 代表者会議
日時:令和 7 年 7 月 25 日(金) 15:00~
会場:所沢市民体育館
- (2) 組み合わせ抽選会は、第 44 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会実行委員会にて行う。
- (3) 本実施要項に定められていない事項が生じた場合は、競技委員による協議のうえ、協議委員長の権限により処理する。
- (4) 競技運営、審判上の注意点については、代表者会議において協議委員長が説明する。
- (5) 審判は大会本部審判部で行うが、線審及び得点盤補助員は対戦県同士で出して行う。
- (6) 記念品交換については色紙交換とし、全てのチームと交換するため、7 枚用意する。
※内容についてはチーム名、都県名、個人メッセージ、氏名等とし、イラスト等は任意とする。

(7) 応援団等のマナーについて

- ① 自チーム並びに相手チーム、審判員に対する野次、ブーイングは行わないこと。
- ② その他、目に余る応援、試合進行の妨げになる応援等については、大会本部、審判団により厳重注意をする。
- ③ 会場内にはゴミ箱は設置しておりません。ゴミのお持ち帰りに御協力ください。

第44回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

【 空 手 道 】

Ⅰ 期 日

(1) 令和7年7月26日(土)

役 員・係員開場	8時 00 分
代表者・審判開場	8時 10 分
選手・監督開場	8時 20 分
審判・監督・代表者会議	8時 30 分
開始式	9時 15 分
※写真撮影	
試合開始	10 時 30 分

(2) 令和7年7月27日(日)

役 員・係員開場	9時 00 分
代 表 者・審判員・監督	9時 15 分
選手開場	
開 始 式	9時 45 分
試合開始	10 時 00 分
表彰式・閉会式	15 時 00 分(予定)

2 会 場

深谷市総合体育館(深谷ビクタートル)

埼玉県深谷市上野台2568番地

Tel:048-572-3000

3 競技規則

公益財団法人 全日本空手道連盟競技別規則に則り、関東ブロックスポーツ少年団空手道競技「事前打ち合わせ会議」において決定した申し合わせ事項による。

4 競技方法

(1) コートは、安全確保のため空手道マット(10m×10m)を使用し、男子2コート、女子2コートの4コートで行う。

(2) チーム構成

ア 同一団員が形と組手の両方に出場することはできない。ただし、大会日においてケガ及び傷病等により欠場団員が出た場合は、別の種目より同学年の団員が出場できる。

イ 団体戦・形競技 各都県男女2チーム

先鋒:小学4年、中堅:小学5年、大将:小学6年の各学年1名、計3名で1チームとする。

ウ 団体戦・組手競技 各都県男女2チーム

先鋒：小学4年、中堅：小学5年、大将：小学6年の各学年1名、計3名で1チームとする。

(3) 競技方法

ア 団体戦・形競技

- ① 各チームを A・B・C・D の4ブロックに分け予選リーグを行い、各ブロック上位2チームによる決勝トーナメントを行なう。また下位チームは交流戦を行う。
- ② 審判員は、5人によるフラッグ方式で行なう。また、勝敗の結果は主審が座ったまま行なう。
- ③ 予選リーグ及び交流戦は2名同時に演武し、決勝と3位決定戦のみ1名ずつの演武とする。
- ④ 演武する形は、予選リーグは、指定形とし繰り返し演武することができる。決勝トーナメント（決勝戦）は予選で使用した以外の指定形もしくは、全空連競技規定、競技形リストに有る形とし、繰り返し演武することができる。ただし、基本形は含まない。
- ⑤ チームの勝敗は個人の勝敗によって決まる。チームの勝敗が決まっても、3名全員が演武する。
- ⑥ チームの順位決定は対チーム勝数による。同数の場合は、総得点の多いチームを上位とし、さらに同数の場合は、直接対決の結果による。
- ⑦ 交流戦の演武する形は、予選で使用した以外の指定形もしくは全空連競技規定、競技形リストに有る形とする。ただし、基本形も含む。

イ 団体戦：組手競技

- ① 各チームを A・B・C・D の4ブロックに分け予選リーグを行い、各ブロック上位2チームによる決勝トーナメントを行う。また下位2チームは交流戦を行う。
- ② 審判員は、主審1名・副審4名、監査1名とする。
- ③ 時間は1分30秒フルタイムとし、個人の勝敗は6ポイント差、もしくは競技終了後の得点数が多いものとする。得点が同点で「先取」がない場合は、1本の多い競技者、技ありの多い競技者とし、技、数ともに同じ場合には引き分けとする。
- ④ チームの勝敗は、個人の勝敗数によって決まる。チームの勝敗が決まっても3名全員が競技する。
- ⑤ 棄権及び反則負けの場合は「0-6」とする。
- ⑥ 予選リーグの順位決定方法は、対チームの勝数による。同数の場合は直接対決の結果による。さらに同数の場合は得失点差、さらに総得点の順で決定する。
- ⑦ 決勝トーナメントのチームの順位決定方法は、対チームの勝数による。同数の場合は、得失点差の大きいチームを上位とする。さらに同数の場合は、総得点の多いチームを上位とする。さらに同数の場合は、代表者による対決の結果にとする。
- ⑧ 10カウントルールは採用しない。
- ⑨ 本大会でのプロテストはできないこととする。
- ⑩ 安全具については、JKF指定のメンホーNo.6かNo.7、ボディープロテクター、シンガード、インステップガード、赤青の拳サポーターを使用するほか、男子はセーフティーカップを着用すること。（拳サポーターについては赤・青とし、リバーシブルは不可とする。）

(4) 服 装

- ア 空手着は白色清潔なものを着用し、上着の背面中央にあらかじめ配布されたゼッケンを縫付け。左胸に各都県マーク・左袖はスポーツ少年団の団員登録章マークを縫付けるその他は一切認めないものとする。
- イ 赤青の帯は、選手各自で用意する。(マイ帯)

5 運営に関する取り決め事項

- (1) 代表指導者・指導者は、スポーツ少年団の理念を学んだ者に限る。引率責任者は役員又はスタッフでも構わないが、試合において指導者をする場合は、スポーツ少年団の理念を学んだ指導者である日宇陽がある。
- (2) 各都県の監督は4名までとし、必要な場合は引率責任者、代表指導者・指導者で代用することができる。
- (3) 団員(選手)は、24名以内で団員登録をしている者に限る。
- (4) 競技において指導する者は、左胸に各都県マーク、左袖に指導者登録章を縫い付け、主催都県が配布したIDカードを首にかける。

6 補 則

- (1) 参加申し込み締切り後のメンバー変更は、特別な事情がない限り認めない。大会日に欠席者が出た場合は、交代届に必要事項を記入し、本部に提出すること。
- (2) 団員(選手)のスポーツ障害並びに健康管理に十分注意すること。

7 対抗戦ポイント

団体戦得点配分 1位36点、2位27点、3位21点、4位18点、5位15点
交流戦(ブロック3位勝)5点、交流戦(ブロック4位勝)3点、参加点1点とする。

8 その他

- (1) 本実施要項に定められていない事項が生じた場合は、競技委員による協議のうえ、競技委員長の権限により処理する。
- (2) 競技運営、審判上の問題点等については、代表者会議において競技委員長が説明する。
- (3) 競技中の事故に対しては、主催者は応急処置を行い、その後は参加者側で処置する。
- (4) 競技においては、団員(選手)の安全を配慮する観点から、出来るだけ連続して行うことがないよう進行で対応する。
- (5) 審判員は、(公財)全日本空手道連盟地区組手審判以上の資格を有する者とする。
- (6) 記念品交換については、1日目開始式前に各都県別に写真を撮影し、これに充てる。
※ 写真代については、800円の自己負担とし、各都県の代表者が取りまとめ、支払い及び送付先等の確認を行う。
- (7) 各都県のA、Bチームの選手振り分けは、各都県に一任する。

(8) 応援のマナーについて

ア 選手及び審判員に対しての野次やブーイングは行わないこと。

イ 応援時の鳴り物は禁止。また、試合中はバルーンスティックの使用も禁止とする。

ウ その他、目に余る応援または試合進行の妨げになる応援等があった場合は、大会本部、審判団により厳重注意を行います。

エ 会場にはゴミ箱は設置しておりません。ゴミの持ち帰りに御協力ください。